

News Letter

ふれあいキューブ創業支援ルーム 月刊インキュベーションニュースレター

title 1

新規入居者のご紹介

令和7年3月、創業支援ルームに新たに入居した個室A-1Blendix株式会社様とブースC-2モルゲンロート様をご紹介します。事業内容等にご興味のある方は創業支援ルームまでお問い合わせください。

A-1 Blendix株式会社

《名称の由来》 会社名「Blendix」は、「ブレンド」と「ミックス」を組み合わせた造語です。メタバースやMR・XRなど、次世代技術に特化した事業を展開する思いを込めています。

《入居のきっかけ》 私が在籍している松実高等学園から創業支援ルームが近く、ふれあいキューブを学校行事などで何度か利用していたことで、施設の存在を知りました。創業支援という環境に興味を持ち、調べていく中で、スタートアップにとって非常に恵まれた場所であることがわかりました。今年から自分の事業を本格的に展開するタイミングでもあったため、活動拠点として最適だと感じ、入居を決めました。

《事業内容》 私の事業では、「MVP高等学園」という、メタバース空間上で学び卒業できる新しいスタイルの通信制高校の設立を進めています。さらに、このメタバース空間をベースにした教育カリキュラムを、学校法人向けに提供・販売するBtoBサービスも展開中です。加えて、メタバース内における広告代理業務や、空間の企画・設計・プロデュースなども手がけており、教育と仮想空間の融合を通じた新たな価値創出を目指しています。

C-2 モルゲンロート

《名称の由来》 モルゲンロートとは、ドイツ語で『山の朝焼け』、その美しい色彩から希望や始まりの象徴を意味します。介護が必要なご利用者様のお手伝いができればと思い、命名しました。

《入居のきっかけ》 2025年は、団塊の世代の方々が75歳以上の後期高齢者となり、超高齢化に突入しています。少しでも今までの経験が春日部市や近隣市町村でお役に立てればと思い、今回の居宅介護支援事業所の設立となりました。



Blendix株式会社
代表取締役社長 松田 峻一さん
※ご本人の希望でこちらの画像を使用しています



モルゲンロート代表 岩井勝己さん

《裏面へ続く》

お知らせ

個室A残り1室です！

個室Aは、当施設では唯一の完全個室スペースです。25㎡の余裕のある空間は、数人で事業を立ち上げるスタートアップ企業や開業したばかりの士業の事務所等には最適な空間です。室内に応接スペースを設けることも可能です。初年度賃料月額（税込）54,890円です。



ご利用をお考えの方は
お早めにご相談ください！

創業支援ルームのコンセプト

- 創業ステージに合わせた入居スペースが利用できます
- 一般社団法人J B I A（日本ビジネス・インキュベーション協会）認定インキュベーションマネージャーによる経営等の相談を受けることができます
- ワンストップで専門家相談や市民活動の相談ができます
- 創業支援スタッフによる来客取次、郵便物の受取ができます

《ふれあいキューブ創業支援ルーム》

電話：050-3353-5334

(平日9:00~17:30)

ホームページ：



メール：incu@kasukabehall.jp

創業支援ルームを知るきっかけは、春日部市介護保険課の計画事業指導担当者様からの紹介で、春日部市商工会議所様に資料作成を手伝って頂き、無事に入居となりました。多くの方々のご協力やアドバイスにとっても感謝しています。

《事業内容》

- ① 介護保険認定調査（この仕事に特に力をいれてまいります）
- ② ケアプランの作成
- ③ 介護に関する相談・支援
- ④ 介護サービスの調整
- ⑤ 要介護認定の申請代行
- ⑥ モニタリング・関係機関との連携
- ⑦ 特別養護老人ホームでのケアマネ21年、春日部市の介護保険認定審査委員を約20年務めた経験を生かして参りたいと思います。

2 第97回情報交換会を開催しました

3月19日(水)創業支援ルーム共用室にて、第97回情報交換会「資金調達ワークショップ」を開催しました。

昨年6月に「埼玉県内の経営者から学ぶ創業セミナー」を共催したご縁で、埼玉りそな銀行の皆様と昨年秋より資金調達に関するセミナーを企画してまいりました。金融機関の窓口は敷居が高く、何から相談してよいかわからないといったお声をよく聞きます。

そんな声に応えるため、もっと気軽に参加できるワークショップで、金融機関が融資の際に重視しているポイントを学ぶセミナーを開催しました。

イタリアンレストラン・バルを開業出店するという架空の設定で、立地条件、経営者の経歴企業概要などを参加者にお示しし、参加者を2チームに分け、SWOT分析から事業計画の策定、資金需要と返済計画を実際の融資の際に使用する「事業性調査シート」に記入していくワークを行っていただきました。

それぞれのチームには埼玉りそな銀行春日部支店の実際の融資担当者が寄り添いアドバイスを送りながらワークを進めましたが、さすがにすでに創業している参加者の皆様から多彩な事業アイデアが飛び出し、賑やかなワークとなりました。

各チームの事業計画を起業者目線で発表した後、シートを交換し、相手チームの事業計画を金融機関の目線で査定を行い、どういった視点で事業の実現性や資金繰りの妥当性を評価するのかを学んでいきました。

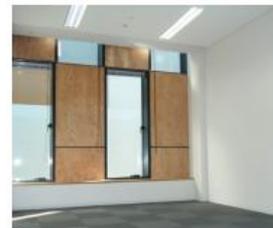
終了後には講師陣と参加者を交えての交流会を行い、起業者と銀行マンの本音トークで盛り上がりました。今回は創業支援ルーム入居者限定の「お試し」開催としましたが、皆様のご意見を反映しつつシリーズ化していきたいと考えています



議論白熱のワークショップ

入居者を随時募集しています

インキュベート室の入居申請を随時受け付けています。現在個室Aに空きがあり、BブースCブースは入居待ちとなります。入居を希望される方は、お気軽に事務室までご相談ください。



A 個室型



Bブース型



Cブース型

《入居対象》

埼玉県地域経済の活性化に資すると認められ、次のいずれかに該当する方（個人・法人は問いません）

- ・これから創業しようとする方、または創業後5年未満の方
- ・新たな事業分野へ進出しようとする中小企業者

詳しいことは、お問い合わせください。

編集後記

大谷選手の人気ぶりはすごいですね。妥協しないひたむきな姿勢は起業を目指すたくさんの人にも勇気を与えてくれます。（市川）

編集 宮本 直樹
池脇 裕介
市川 潤
取材・編集補助 大川原 由美
デザイン・構成 小川 宏